

講義名	児童心理学					授業形態
担当教員	椎藤 真織	開講期・曜日・時限		前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生	ナンパリング・コ

主題と概要

近年の生涯発達の観点から、我々は生まれてから死ぬまで、生涯にわたって発達・変化する。また、人生100年！ということばもあながちだらけのお題目ではなく、100歳をこえた高齢者が8万人に達した。長寿者の研究から、豊かな高齢生活を求めるために、子どもの経験や環境の影響も少なくないとの報告がある。この動きに合わせた最近において、豊かにしあわせに生きていくためにも、子ども時代を豊かに過ごすこと、しわ寄せに暮らす環境を整えることは重要な課題であるといえる。児童青少年の発達の特徴、現状と課題について考察を深める。

到達目標

「発達」および発達を取り巻く関連の概念を理解する
「学習」および学習を取り巻く関連の概念を理解する
生涯発達における「児童期」の意義を理解する
心理学的知見を活用して、児童期の課題や諸問題に寄与するアイディアを考察する

提出課題

授業で活用するワークシートやレスポンドで、自分の学びについてコメントを提出する。
みんなからのコメントは、クラスでシェアして、クラスの意見からも学び合える。
授業内で取り上げたトピックに関連するテーマを各自設定して、3分間のプレゼンテーションを行う(動画を作成する)

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物は、内容確認後、授業内で返却する。
また、学生の学習内容については、授業時にクラス全体にコメントする。

評価の基準

授業内課題 30%
中間レポート(プレゼン動画) 35%
最終課題 / 試験 35%

履修にあたっての注意・助言他

今までのあなたの学びの「成長」が成長を振り返り、この授業で「何を学んだか」、「なぜ何を身につけられたか」、自己評価して、次にななげで新しいなと思ってます」
授業では、「黒板を取り囲むうの、あなたの目先の黒板についても「思ひ起しながら学びます」。グループワークでは、「子ども時代の経験など個人的にも言おうことがあるかと思いますが、仲間同士持ち合って語り合えればと思いますので、自分で話してもよいと思うことを選んで、話したくななくなると思うことは話す必要はります」。一人ひとり他者とシェアできる事柄や範囲、程度が異なりますので、それだけで範囲を語り合いましょう。

教科書

参考図書

季の他

テキストは使用しないが、ワークシートを活用するので、A4プリントをファイリングできるこの科目だけのファイルを用意してください。その他、資料等配信するので、活用してください。
ラーニングカードフォリオを作成して、それをあなたのオリジナルテキストにしてください。
ワークシートは授業時に配布します。

受業計画

- 第1回 オリエンテーション：今クラウスの学び方・私たちの学びの成果とこれから自己理解で学んでいきましょう！ 2つの理学・心理学的人間理解解説は、めざさしい心理学と児童心理学。研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第2回 心理理解と児童心理学 研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第3回 心理理解と児童心理学 研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第4回 発達って何？ なぜか？ 私たちの喜びの書じみの中の発達と心理学第5回 発達理解と児童心理学 研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第6回 発達理解と児童心理学 研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第7回 発達理解と児童心理学 研究してみてね！ なぜか？ 学びの発達と心理学の方法第8回 演習：学生のプロセスを理解しよう！ 上手に学習するには？ ～発達のための「まなづき」～ 第9回 演習：学生のプロセスを理解しよう！ 上手なまなづきと用意検討からの支援 第10回 パステラーソン：動画講義の準備 第11回 パステラーソン：動画講義の準備 第12回 パステラーソン：動画講義の準備 第13回 パステラーソン：動画講義の振り返り 第14回 パステラーソン：動画講義の振り返り 第15回 まとめ：心理学的児童理解を実践するってどういいくこと？

授業形態（アクティブ・ラーニング）

- ア：PBL（課題解決型学習）
 - ウ：ディスカッション、ディベート
 - オ：プレゼンテーション
 - キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）

	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	エ：グループワーク カ：実験 フィールドワーク

古ルンブリ演習 事例帳

各回の授業に関連するキーワードやトピックを紹介するので、そのことについて調べたり、自分のアイディアをまとめておく（学習時間：2時間程度）。授業後は、議論で得た新しい知識や仲間との語り合いから自分の学びの成果を振り返り、まとめておく（学習時間：2時間程度）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

DP 1 : 目標の から を達成することで、共通DPの第一項目に貢献できる。
DP 2 : 目標の および を達成することで、共通DPの第二項目に貢献できる。
DP 3 : 目標の および を達成することで、心理コースのDP第一項目に貢献できる
DP 4 : 目標の などによって、心身ともに成長する第一項目に貢献できる。

双方面授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面授業では、授業に関連するテーマについて、アンケート形式のワークでコメントを行い、それをクラスでシェアする。レスポンを使用するので、各自ノートPCかスマホを持参するようお願いします。

実務経験の有無及び活用

保育所勤務：児童期の前段階である乳幼児の発達について、その仕組みや事例を紹介する。
障害児療育：児童期の発達のつまづきやその支援について紹介する。

三

授業の初回時に、今後の授業スケジュール（グループワークや演習、中間課題の提出日やプレゼンテーションの日程など決めたいと考えています。履修して単位の取得を確実にしたい学生は、なるべく初回の授業に出席して下さい。
授業の出席については、原則、大学の方針に沿って確認いたします。